

錦糸町まちづくり

錦糸町まちづくりグランドデザイン 策定委員会を進めています！

錦糸町のまちづくりの羅針盤となる行政計画の策定に向け、第3回錦糸町まちづくりグランドデザイン策定委員会を開催しました。第3回委員会では、『めぐる』をテーマに、「駅周辺」、「まちの通り」、「オープンスペース」において「だれもが安全・安心で快適にまちを回遊できる人中心の空間づくり」を目指していく方向性について、ご意見をいただきました。次回は『すぐす』『ささえる』をテーマに、委員の皆様からご意見をいただく予定です。まちづくりの状況は、10月の「すみだまつり・こどもまつり」や11月7日（土）に実施するまちづくり機運醸成イベントでも報告していきます。

■錦糸町まちづくりグランドデザイン策定委員会の進捗状況と今後の進め方

●第3回 テーマ『めぐる』

まちの“歩行者ネットワーク”や“回遊性”等に関する内容について検討しました



委員会の様子

〈主な意見〉

- ・南北を快適に行き来できる歩行者動線の確保
- ・楽しみながらまちを回遊できる歩行者環境の形成
- ・オープンスペース間の回遊を促す仕掛け など



●第4回 テーマ

『すぐす』
『ささえる』



まちづくり機運醸成イベント

まちづくり機運醸成イベントを11月7日（土）に実施することが決まりました！イベントの詳細は次号以降で紹介！



※パブリックコメントを第7回以降に予定しています。

錦糸町まちづくり
グランドデザイン策定

まちを“ささえる”地域の力を紹介します！

錦糸町には魅力あふれる商店や飲食店が数多くあり、まち全体に賑わいと活気を生み出しています。

長い間、錦糸町商店街振興組合の理事長として地域をささえている山田昇氏に、錦糸町のまちの将来などについてお話をお聞きしました。



錦糸町商店街振興組合
理事長 山田 昇 氏

錦糸町は娯楽により発展し、様々な人や文化を受け入れた多様性のある面白いまちです。物販から飲食中心への流れを良い方向にもっていけば、より発展すると思います。



錦糸町商店街振興組合主催
すみだ錦糸町河内音頭大盆踊り

錦糸町の『めぐる』を紹介します！

錦糸町まちづくりのテーマ『めぐる』にちなんで、歩くと楽しい錦糸町の通りや訪れたい魅力のある公園などを紹介します。ぜひ錦糸町の『めぐる』を楽しみながら新しい魅力を発見してください。

北斎通り

錦糸町と両国をつなぐ通り。本格的な音楽施設であるすみだトリフォニーホールから西に進むと、すみだ北斎美術館や江戸東京博物館へ。



大横川親水公園

南北に延びる緑豊かな公園。4月にはインクルーシブ遊具広場がリニューアルオープン。夏に水遊びなどが楽しめる広場など、憩いの場が充実。



タワービュー通り

無電柱化が図られた見晴らしの良い通り。東京スカイツリー®が一望できる錦糸町のフォトスポット。



錦糸公園

2028年に100周年を迎える公園。錦糸町駅から歩いてすぐの場所にあり、「錦糸公園桜まつり」や「すみだまつり・こどもまつり」など魅力的なイベントを実施。



横十間川

東京都による護岸工事が進行中。

錦糸堀公園

今年も子ども向けイベントを11/7(土)に実施。



ダービー通り(通称)

個性豊かな飲食店が立ち並び、錦糸町ならではの雰囲気を感じられる通り。



竪川親水公園

東西に延びる高架下に位置する公園。テニスコートやボール遊び広場などもあり、雨が降っても利用可能。11/7(土)にスポーツイベントを実施。



都心への玄関口「錦糸町駅」の歴史

1894年に総武鉄道が東京に進出し、本所停車場(現・錦糸町駅)を設置しました。当時は終着駅であり、1917年に市電4系統が、1944年には都電3系統が接続するなど、錦糸町のまちは東京東部の交通拠点(ターミナル駅)として発展してきました。そのため、駅の周りには町工場や問屋街等がひろがり、そこで働く人のための商店・飲食店・娯楽施設などが集積し、今でもその活気が受け継がれています。

■当時の本所停車場(※参照「新選東京名所図会第六十選」)



発行元・問合せ：墨田区 都市整備部立体化・まちづくり推進担当
まちづくり調整課
MAIL: machichou@city.sumida.lg.jp
TEL: 03-5608-1593